



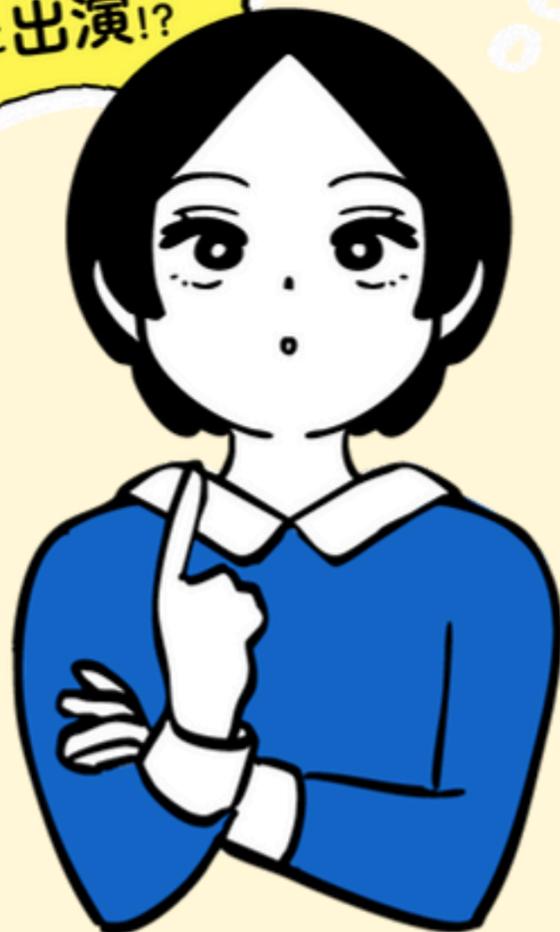
青木木さんちの食卓



AI青森さんを育てよう!
投稿キャンペーン



採用された方は
漫画に出演!?



青木木さんちの食卓

サイトリニューアル
&

「AI青森さん」投稿キャンペーンのご案内

『青森さんちの食卓』とは？



主人公・青森さんの青森での生活を描いた**漫画を無料配信しているWebサービス**です。

父が経営している会社の後を継ぐために弘前にUターンしてきた主人公・青森さん。青森さんを中心に青森でのありのままの暮らしを描いています。

サービス機能

青森の生活描いた漫画「青森さんちの食卓」の無料配信

主人公の青森さんとチャットができるAI青森さん

漫画に出てくる食品や飲み物が実際に買えるEC機能

※現在EC機能は停止中

<https://www.aomori-sanchi.com/>

キャラクター紹介

※2025年9月現在 9話配信

同じ会社の同僚



青森さん

学生時代からの友人



岩木さん



黒石くん



五所川原さん

地元の友達



いたっち



鶴ちゃん

漫画の特色①



弘前さくらまつり



五所川原立俵武多



黒石よされ

言葉だけ、写真だけでは伝えきれない地元民の想いや雰囲気表現

漫画の特色②



かわしまカレー/弘前



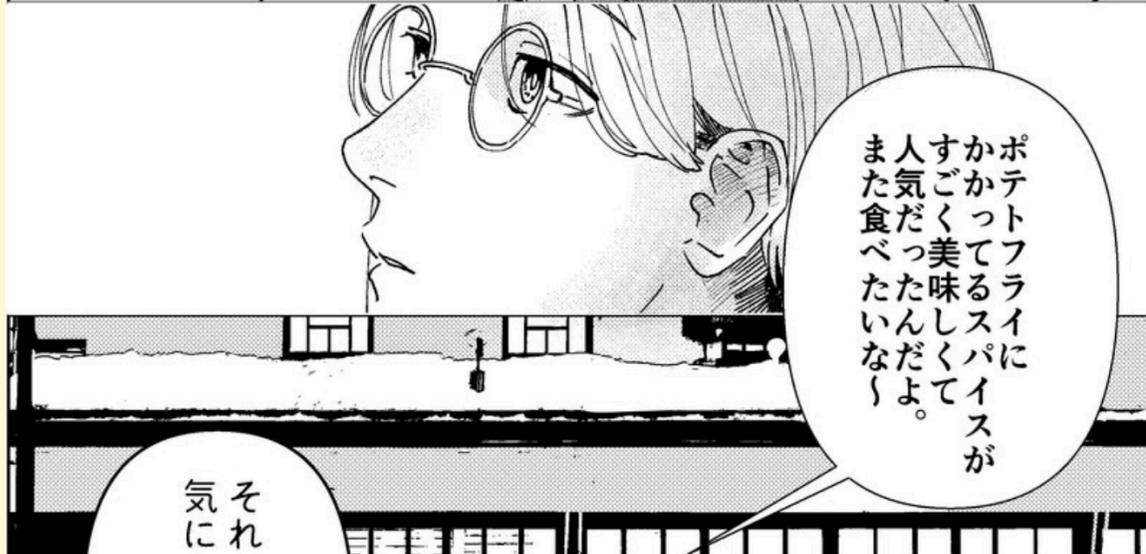
横浜屋の団子/黒石



あげたい/五所川原

地元で愛されるお店がリアルに登場

漫画の特色③



地元の人には共感、県外の人には
青森の“秘密を知った”特別感を

サービスがめざしているゴール

青森の“ありのまま”の暮らしというコンテンツを価値化し、青森と県外の人たちのハブとなること

スーパーでの買い物、雪かき、季節ごとの食卓、友人との会話。そうした当たり前の風景を丁寧に描くことで、地域への共感や親しみを育て、「行ってみたい」「暮らしを感じてみたい」と思ってもらえるきっかけをつくります。



県外の人



漫画に出てくる特産品を購入



漫画に出てくる場所に観光・移住

ポテンシャル

漫画・アニメコンテンツが地域の持続可能な活性化につながるケースも多くあります。

国内観光の新潮流：「聖地巡礼」市場はすでに数千億円規模

- 『ラブライブ！』×沼津（年間30億円以上の経済効果）
- 『ガルパン』×大洗（人口の数倍の観光客が訪問）
- 『ゆるキャン△』×山梨（移住・観光・コラボ事業が拡大）

など、地方がアニメ・漫画というIP(知的財産)を軸に新たな価値を生み出す成功例が相次いでいます。

訪日観光客にとっても「日本のアニメ文化」は最大の魅力

訪日外国人の約6割が「日本のアニメ・漫画文化」に関心があると回答しており、その中でも4割以上が「聖地巡礼・舞台訪問」に興味を示している。（JNTO[日本政府観光局]参照）

しかしヒットしたときのポテンシャルは爆発的に大きい一方で、ヒット前は数字が読みにくい

しかし、漫画はヒット前から「地域の共創素材」として活用可能なIP(知的財産)です

漫画をヒットさせることは目標でありつつ、地域の人たちに愛されるコンテンツになることで、漫画がヒットする前から活用できるIPになることを目指しています。

PR素材として

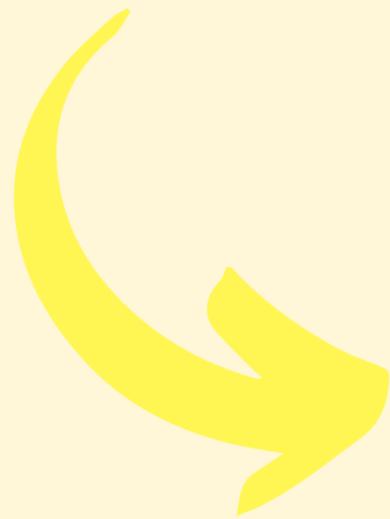
地域の食や暮らしを「物語」で伝えることで、従来のPRでは届きにくかった若年層や県外層への接点をつくります。

地域事業との共創の軸として

飲食店や農産物、観光地とのコラボ展開が可能。「キャラクターと一緒に体験する」形で新たな価値を生み出せます。

プロモーションの素材として

SNS・Webなどへの展開が容易で、ヒット前からファンとの“共創コミュニティ”を形成できます。



**「ストーリー」で地域の魅力を伝える漫画は、
「ヒットしていない＝使えない」ではなく、
「今の段階でも十分に使える資産」です。**

地域 みんなで育てていくことで最高の青森県のIPを作りたい

描いているステップ

- 🌱 1～2年目（現在）：SNSやWeb連載を中心に認知・ファン層形成
- 🌸 2～3年目：コラボ企画や地域イベントとの連動で価値を拡張
- 🗺️ 3年目以降：「聖地巡礼」「ツーリズム」など地域経済との連動が本格化

IP（知的財産）は、作品が誕生した瞬間から存在しますが、その価値は時間と人との関わりによって少しずつ育っていきます。『青森さんちの食卓』もここからたくさんの人に関われる仕組みが必要。



漫画の中から飛び出して、AI青森さんを作ってしまいました！

2025年秋、新公式サイトと「AI青森さん」をリリース



- 2025年秋、公式サイトをリニューアルしました！
- 漫画の主人公とサイト内でチャットができるAI青森さんもリリース

漫画とAIを通じて、県内外のユーザーが青森の日常や観光情報に触れる機会を創出。

と...言いつつ重大な課題が...

AI青森さんの青森に関する知識(=制作側の知識)が少なすぎる😞



公式サイト

公式サイトからAI青森さんと話してみてください
知識の無さが体験できます😞

そこで、「AI青森さん」の知識を貯める**投稿キャンペーン**を実施します！

テーマ



キャンペーンサイト

テーマに沿って皆さんの青森に関する情報を教えてください！

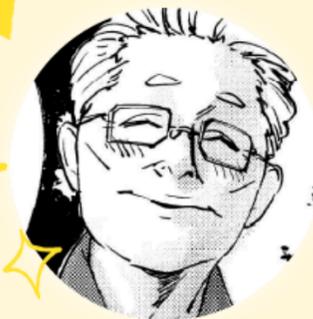
第1回 10/1 ▼ 10/14	「県外の友達が遊びに来るならどこに連れてく？」 <small>観光地、おすすめのお店、自然...etc</small>	大賞発表日 10/31
第2回 11/1 ▼ 11/14	「結局ここに通ってる。地元の好きなお店と、好きなメニュー」 <small>〇〇町のラーメン〇〇の煮干し味がうまい。</small>	大賞発表日 11/30
第3回 12/1 ▼ 12/14	「子ども時代の思い出の場所・味」 <small>〇〇町の喫茶〇〇の甘いココあるナポリタン。もう閉店しちゃったけど。当時好きだった子と一緒にきました。</small>	大賞発表日 11/30
第4回 Coming soon		



特典

大賞
各回1名

各回、優秀な投稿をしてくれた1名様が『青森さんちの食卓』に登場！



参加賞

投稿はAI青森さんの知識に活かされます！



一緒に育ててください - 応援のお願い

行政・メディア・企業の皆さまにお願い。

本キャンペーンを一緒に盛り上げていただけると幸いです👩🏻

青木 青木森さんの食卓

第一話 青森さんの1日

